

熊本県立荒尾支援学校進路便り



令和5年度第6号（通巻80号）10月19日 進路指導部発行

【前期】高等部一般学級キャリア意識調査報告

キャリアアップチャレンジ5に関するアンケート結果より

高等部一般学級では、やがて社会人になっていく生徒たちに身につけてほしい行動を、具体的な行動目標として「キャリアアップ・チャレンジ5」と呼び、指導しています。今回の進路便りでは、前期末に生徒、保護者、現場実習先に対して実施した意識調査結果の概要を紹介します。

- キャリアアップ・チャレンジ5
- 1 気持ちいいあいさつ返事
 - 2 きちんとした身なり
 - 3 ていねいなことばづかい
 - 4 時間・約束を守ろう
 - 5 そうじ・かたづけ

1 保護者アンケート 「知っていますか？」～保護者の認知度低下！～

	今年度	昨年度
知っている	31% (↓ 20p)	51%
聞いたことがある	47% (↑ 3p)	40%
知らない	22% (↑ 13p)	9%

キャリアアップ・チャレンジ5を、「知っている」と答えた方が昨年度で20ポイント減少し「知らない」と答えた方が13ポイントも増加しています。特に顕著なのが1年生保護者で、実に37.5%が「知らない」と回答し残念な結果となりました。キャリアアップチャレンジ5については、入学者説明会でも必ず説明しているところですが、保護者の皆様が更に日常的に意識できるような情報提供の機会が必要であることが分かりました。

2 生徒アンケート 自己評価 ～ポジティブ(肯定的)評価の割合は？

項目	1年	2年	3年
1 気持ちいいあいさつ返事	49%	86%	76%
2 きちんとした身なり	54%	71%	86%
3 ていねいな言葉遣い	49%	64%	76%
4 時間・約束を守ろう	60%	64%	76%
5 そうじ・かたづけ	40%	79%	90%
平均	50%	74%	81%

次に生徒の自己評価の結果です。生徒にはチャレンジ5の行動のでき具合を「よくできる」「できる」「あまりできない」「むずかしい」の4段階で評価してもらいました。このうち、「よくできる」「できる」の回答は「ポジティブ評

価」と考えられ、学年別、項目別に前表のようになり、全ての学年でポジティブ評価が平均50%以上、とくに3年次では81%と高い割合となっています。

この自己肯定感は社会参加に向けて非常に重要となる感情です。3年生の自己肯定感の高まりは本校教育3年間の成果と考えられ、非常に嬉しい結果です。逆にポジティブ評価平均が50%の1年生ですが、まだまだ無限の伸びしろがあると捉えられます。11月にある、初めての現場実習や本校の様々な教育活動を通じて、確実な力をつけて欲しいと願います。ご家庭でもぜひ「キャリアアップチャレンジ5」を意識した生活の充実をお願いします。

3 実習先評価 ～現場が重要視する力とは？～

現場実習終了後、実習先へ下記の項目でアンケートを実施しました。

- 1, 実習先におけるキャリアアップチャレンジ5の重要度
 - 2, キャリアアップチャレンジ5のうち、本校生徒が比較的よくできていること
 - 3, 本校生徒の課題となること
 - 4, その他身につけて欲しい力
- (実施数21、回答数11)

■実習先が重要視することとは？

項目	全体	企業・A型
1 気持ちいいあいさつ返事	1位	2位
2 きちんとした身なり	3位	3位
3 ていねいな言葉遣い	4位	4位
4 時間・約束を守ろう	2位	1位
5 そうじ・かたづけ	5位	5位

実習先には、企業・A型・B型・生活介護が含まれており、取り組む活動の内容、難易度、量や時間が異なりますので、当然それぞれ重要視することが異なるはず。そこで全体の順位に加えて、「仕事」が中心となる「企業」「A型」の順位も表してみました。全体の傾向はどちらも変わりませんが、企業・A型では「時間・約束を守る」ことが最重要となっていることが分かり、今後の子育て・教育の参考になります。

よくできていること・課題は？

本校生徒が比較的よくできていることとして多かったのが、「ていねいな言葉遣い」6件、「きちんとした身なり」3件、「気持ちいいあいさつ返事」3件でした。課題としては、「時間約束の遵守」3件などが挙げられました。

■その他身につけて欲しい力は？

- キャリアアップチャレンジ5以外で身につけるべき力として、次のご指摘をいただきました。現場からのご意見は、これからの学校・家庭生活でぜひ参考にしたいものです。
- 失敗しても前向きにチャレンジする力・積極性（企業より）
 - 節目や困ったときの報告・相談（生活介護事業所より）
 - 一人暮らしにつながる生活力（生活介護事業所より）
 - 体調管理能力（B型事業所より）



文責：谷口

